

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	フィールド・スタディⅠA（Field StudyⅠA）		
ナンバリングコード	E11411	大分類／難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目／基礎レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年／開講期	1 年／前期
必修・選択区分	選択：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E047901	クラス名	地域マネジメント
担当教員名	今西 衛、本村 裕之、山城 興介、亀井 良幸、後藤 厳寛		
履修上の注意、 履修条件	履修条件：ガイダンスに出席し、初回レポートに合格した学生（すなわち、書類審査となります）。 本授業では部活動やアルバイト等と重ならないよう事前に調整をしておきましょう。プロジェクト型科目なので、3年間継続して履修することが望ましい。 地域マネジメントコース希望者は受講しておくことが望ましい。また、プロジェクト型科目であるので、3年間通じての履修が望ましい。その他を参照すること		
教科書	必要に応じて資料を配付します。		
参考文献及び指定図書	橋本 行史 編著「地方創生の理論と実践 -地域活性化システム論-」、創生社、2015		
関連科目	フィールド・スタディⅠB、フィールド・スタディⅡ、フィールド・スタディⅢ		

○基本情報		
授業の目的	大分県は「おんせん県」といわれるほど、温泉が各地にあり観光資源としても活用されています。しかしながら、今回のフィールドとなる豊後大野市は温泉がない市です。そのような市でも自然やジオパーク、伝統・文化、地産のものを活かした食など、観光資源化されていない多くの魅力あふれたものがあります。本授業では、実際に現地に赴き、ホンモノの体験や現地プロガイドのコーディネートを通じて、当該地域の現状や抱えている課題、地域の隠れた魅力を理解、発見するとともに、持続可能なまちづくり（SDGs）その理解に基づいて若者の感覚を活かした説得力のある意見表明を行える能力を養うことを目的とします。	
授業の概要	現地の名所を訪問するとともに、学生自身にとっても当事者として真剣に考えることができる体験型学修を実施します。最終日には「観光をベースとしたコミュニティビジネスの可能性」をテーマに班ごとに報告を行い、ディベート形式の討論を通して成績評価を行います。 事前学習、予習、復習、レポートの採点結果をフィードバックして、さらによりよい提案に結びつけます。 参加費用として実費（1万円程度）が必要です。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「PBL（課題解決型学習）」
地域志向科目	カテゴリーⅡ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準（合計100%）		
到達目標の観点	到達目標	テスト （期末試験・中間確	提出物 （レポート・作品等）	無形成果 （発表・その他）
【ディプロマ・ポリシー①】	フィールドで得た情報にもとづいて、グループワークなどを通して、地域の課題を正確に把握することができる		5%	5%
【ディプロマ・ポリシー②】	地域関係者と積極的にコミュニケーションを図り、グループワークを通して、多角的に考察することができる		25%	25%
【ディプロマ・ポリシー③】	フィールドワークを通して、教養や倫理観、地域の課題を解決しようとチャレンジしようと試みている		20%	20%

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。
[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。
[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。
[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。
[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。
課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

履修上の注意（その他）
地域の現状や課題に対し、理解を深めること。
報告及びディスカッションを行うので、積極的に自分の意見を表明すること。

初回レポートの評価基準
・地域活動への積極性がみられること
・地域関係者へ迷惑をかけないこと
・可能ならば、3年間継続してプロジェクトに参加する意思が明確であること

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	フィールド・スタディ I A (Field Study IA)	授業コード	E047901
	担当教員	今西 衛、本村 裕之、山城 興介、亀井 良幸、後藤 厳寛		
学修内容				
1. オリエンテーション				
目的、概要、日程等の説明				
予習	事前に豊後大野市の現状において調べておいて下さい			約15時間
復習	次回までに、オリエンテーションを踏まえ、豊後大野市の課題をどのように解決すべきかまとめて下さい			約15時間
2. 事前学習				
合宿で学修するための目標設定を行ってもらいます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
3. 事前学習				
提出された目標設定に基づいて、教員から個別にコメントを行います。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
4. 事前学習				
教員からのコメントに基づき、必要な情報を自身で収集する。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
5. 現場説明				
現地を巡って事情を知るとともに、新たな魅力を発見してもらいます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
6. 現場見学				
引き続き現地の見学を行ってもらいます。 また、ロッジでの食事等、自然の豊かさを実感してもらいます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
7. 振り返り				
見学した地域についての振り返り学習 何が魅力だったか、何が不便だったかなどを話し合って整理します。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
8. 現場見学				
引き続き現地の見学を行い、地元住民から現地事情について説明を受けます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			

○授業計画	科 目 名	フィールド・スタディ I A (Field Study IA)	授業コード	E047901
	担当教員	今西 衛、本村 裕之、山城 興介、亀井 良幸、後藤 厳寛		
学修内容				
9. プレゼン準備				
グループに分かれ、自分たちの発見した魅力について報告の準備をしてもらいます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
10. プレゼン練習				
報告用のポスターを作成し、翌日の報告練習を行ってもらいます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
11. プレゼン報告調整				
報告前の最終確認として、資料の補足や報告練習を行ってもらいます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
12. プレゼン報告				
現地住民を交えて、豊後大野の新たな魅力(あるいは改善が必要と感じられた点)について報告を行ってもらいます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
13. ディスカッション				
他班の報告に対して、質疑を行ってもらいます。自分たちの主張を説得的にアピールすることが成績評価につながります。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
14. 振り返り				
本合宿の総括として、振り返りシートを作成してもらいます。				
予習	集中講義のため、予習なし			
復習	集中講義のため、復習なし			
15. 振り返り				
報告、質疑応答、振り返りシートなどから成績評価を行います。				
予習				
復習	振り返りシートを完成させなさい。			
16.				
予習				
復習				